(ご参考：1/24) 経済関係ニュースレター (在シアトル総領事館)

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、[こちら](#)までメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月1回の英語ニュースレター"From Japan to the Northwest"を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

日ワシントン州経済関連ニュース

(1) 昨年 12 月のシアトル地域のインフレ率は 2.7%と安定

シアトル地域のインフレ率は、昨年 12 月に 2.7%まで低下し、2021 年以来の最低値を記録した。昨年 8 月以降、同地域の物価上昇率は低下している。1 年間の物価上昇率は、食品および飲料が 3%、住居費が 4.4%、公共料金は 10.2%となった。一方で、ガソリン価格は昨年から 6.2%下落。通常、地域の健全な経済のためのインフレ率は、2%とされる。

[\(1/15 付シアトルタイムズ記事\)](#)

(2) サウンド・トランジット交通が「緊急事態発生」を宣言

1 月 21 日、サウンド・トランジット交通のゴラン・スパーマン最高経営責任者は、「緊急事態発生」を宣言した。前日の 20 日のラッシュアワー時に、同交通のライトレールがタクウィラ・インターナショナル・ブルバード駅付近で立ち往生し、乗客が 1 時間足止めされ、次々と遅延が発生したことを受けたもので、原因として、老朽化したインフラ、機械の故障、停電、メンテナンスの遅延といったシステムのかねてからの信頼性の欠如が挙げられる。同宣言は、技術サービスの HNTB 社に最大 150 万ドルの無競争入札業務を依頼するためのもので、電気供給網から列車運行システムに至るまで、問題を抱える項目のより大きな契約は、後日入札にかけられる予定である。昨年 10 月時点での同交通の乗客数は、1 日当たり約 10 万人と前年同月から 25%増加しているにもかかわらず、レールやワイヤーの損傷、ソフトウェアの脆弱性による遅延等で、2024 年には 11 月までに計 376 時間の運行中断が発生し、市民の信頼が損なわれている。3 月に州間高速道路 5 号線の車線閉鎖を含む大規模なインフラ工事計画が迫り、公共交通機関への需要が高まるなか、同局は信頼性の向上を目指している。[\(1/23 付シアトルタイムズ記事\)](#)

(3) ワシントン州で成長する炭素回収技術

ワシントン州を始めとする太平洋岸北西部は、炭素回収及び除去の技術革新の拠点として台頭しつつある。ワシントン州は、炭素削減の全体的な取組において、炭素回収及び除去技術の役割について公式に検討している。スポケーン市に拠点を置く CarbonQuest 社

は、イースタン・ワシントン大学の大規模ボイラー施設を始め、全米各地の施設から排出される二酸化炭素を回収する技術を応用しているほか、欧州の CarbFix 社と提携し、国際市場への進出も図っている。シアトル市では、ワシントン大学の研究者が、海洋二酸化炭素除去の可能性を模索しており、海水から余剰の炭素を抽出して酸性化に対抗する方法を研究している。[\(1/13 付シアトルタイムズ記事\)](#)

(4) シアトル市の AI 技術インキュベーターがウォーターフロントのピア 70 にオープン

シアトル市ウォーターフロントのピア 70 は、アレン研究所から生まれた AI スタートアップ企業向けの営利投資ファンドである AI2 インキュベーターとして利用される。同地を購入したランドマーク・イベント社による計画で、ピア 70 の空間の約 40 パーセントを占める現在の店舗や事業は維持されるが、AI2 インキュベーターが主要テナントとなる。同計画により、シアトル市で最もオフィス空室率の高いウォーターフロント地区の活性化が期待される。[\(1/16 付シアトルタイムズ記事\)](#)

(5) アマゾン社員のオフィス復帰義務により、シアトルの交通渋滞が悪化

シアトル交通局 (SDOT) と INRIX のデータによると、アマゾン本社のあるサウスレイクユニオンとデニー・トライアングルでは、アマゾン社員の週 5 日オフィス復帰義務化が開始されて以来、交通量が 5~9%増加し、同地域の通勤時間は 15~20%増加している。自転車シェアのライムの調査では、サウスレイクユニオン地区でのシェア自転車とスクーターの利用が同 146%増加した。シアトル市ダウンタウンの交通量は、依然としてパンデミック前の水準を下回っているものの、州間高速道路 90 号線や高速 520 号線などの主要ルートでは、特に火曜日に大幅な渋滞が発生している。こういった傾向は、都市インフラが対応に苦慮する中、急激なオフィスへの通常業務復帰への対応の難しさを浮彫りにしている。[\(1/21 付シアトルタイムズ記事\)](#)

その他、ジェトロビジネス短信記事より

2025年1月23日 [トランプ米大統領、出生地主義を否定する大統領令に署名、違憲との異議申し立ても](#)

2025年1月22日 [トランプ米大統領、アラスカの石油・ガス開発規制を全面緩和する大統領令に署名](#)

2025年1月22日 [トランプ米大統領、パリ協定からの離脱など定めた大統領令に署名](#)

2025年1月22日 [トランプ米大統領、エネルギー関係で5本の大統領令に署名、規制の見直し・緩和を推進](#)

2025年1月22日 [トランプ米大統領、国境の安全確保に関する大統領令に署名](#)

総領事館からのお知らせ

(1) 【在シアトル総領事館及び全米アジア研究所共催】 [U.S.-Japan Economic Security and Technology Cooperation](#)

当館と全米アジア研究所（NBR）共催による日米間の経済安全保障及びテクノロジー協力に関するパネルディスカッション。どなたでも参加可能（無料、要事前登録）です。

【日時】 2025年1月28日（火） 正午～午後1時半（午前11時半開場、軽食あり）

【場所】 Dorsey & Whitney LLP

701 5th Avenue #6100 Seattle, WA 98104

【参加費】 無料（要事前登録）

【問い合わせ】 ☎ 206-632-7370 (The National Bureau of Asian Research has offices in Seattle)

【詳細】 <https://www.eventbrite.com/e/us-japan-economic-security-and-technology-cooperation-tickets-1117800343919?>

(2) 【日米協会スモールビジネス部主催】 2025年 ワシントン州の労災保険をマスターしよう

ワシントン州日米協会スモールビジネス部主催、ワシントン州労働産業局提携のセミナー。従業員であっても雇用主であっても知っておくべき労災保険の基本情報を学びましょう！ワシントン州労働産業局（L&I）の専門家によるセミナーで、もしも怪我をした時どうすればいいのか、クレームの申請方法、労災保険における権利と責任について詳しく学べます。どなたでもご参加ください！

【日時】 2025年2月4日（火）午後6時～午後7時半

【場所】 NVC Memorial Hall 1212 S King St, Seattle WA 98144 / Online via live streaming

【参加費】 無料

【問い合わせ】 ☎ 206-374-0175

【詳細】 <https://jassw.info/event-6020186>

The flyer features a colorful illustration of diverse workers at the top. Below it, the title "Understanding Workers' comp" is prominently displayed in green, with the subtitle "PROTECT YOUR BUSINESS & EMPLOYEES!" in black. A small portrait of Maggie Hammond is shown on the left. The text lists key topics: "What You'll Learn" includes "For Employers: How to comply with Workers' Compensation laws, reduce premiums, manage claims, and keep your employees safe." and "For Employees: Your rights under Workers' Compensation, how to file a claim, and what support you're entitled to in case of injury." It also mentions "Best practices for workplace safety and preventing injuries." and "Q&A. Get expert answers during the Q&A session." The event is a "Hybrid Seminar: In-person & Online" on "Tuesday Feb 4th 2025" at "NVC Memorial Hall 1212 S King St, Seattle WA 98144" starting at "6:00-7:30 pm". A QR code and a "REGISTER HERE" button are also present. The JAPAN-AMERICA SOCIETY logo is at the bottom.

（3）【日米協会スモールビジネス部主催】ゼロから学ぶウェブサイト作成ワークショップ

初心者向け！ゼロからウェブサイトを作れる全5回シリーズの無料ワークショップを開催します。「ウェブサイトを作りたいけど、どうすればいいかわからない」と感じている方に最適！このワークショップでは、ゼロから始めて、最終的に自分だけのウェブサイトを作成できるようになります。独学より効率的で、理解しやすい内容で学べます。講師はウェブ制作のプロフェッショナル【PSPINC】が担当。知識がなくても安心して参加でき、実際に手を動かしながらウェブサイト制作の楽しさを体験できます！

【日時】 2025 年 2 月 11 日（火）午後 5 時 30 分～午後 7 時

【場所】 PSPINC

【参加費】 無料

【問い合わせ】 ☎206-374-0175、smallbiz@jassw.org

【詳細】 <https://jassw.info/event-6031712>

JAPAN-AMERICA SOCIETY 全て無料で学べるチャンス！
ゼロから学ぶウェブサイト作成 Workshop
ウェブサイト作成の第一歩を踏み出そう！
申し込み受付中 このコースは全5回のセッションを通して完了します。
第1回(2/11):ドメイン登録・ホスティングの基礎
第2回(3/4):Webサイト構築の基本
第3回(3/25):コンテンツ作成とSEOの基礎
第4回(4/15):SNSとマーケティング
第5回(5/6):Webサイトの運用と改善
パソコンをご持参ください！
Start at 5:30pm
PSPINC 1404 140th Pl NE, Bellevue, WA 98007
日本人講師による指導！
お申し込みはこちらから
WSMA SHRN
申込受付は2/7(金)まで

（４）ワシントン州の事業者向け低金利連邦災害ローン（再掲）

2024 年 11 月 17 日から 25 日にかけて発生した爆弾低気圧の影響を受けたワシントン州の事業者および住民は、米国中小企業庁（SBA）による災害支援を受けることができます。災害宣言により、ワシントン州のシェラン郡、キング郡、キットサップ郡、キティタス郡、ピアース郡、スノホミッシュ郡、ヤキマ郡で SBA による支援を受けることができます。

【申請期限】 物的損害 2025 年 2 月 21 日、経済的損害 2025 年 9 月 23 日

【詳細】 [こちらから](#)

編集後記：本年 4 月から 2025 年大阪・関西万博が開催されます。年始に帰省した故郷・大阪では、ニュースは万博一色で、開幕に向けて期待の高まりを感じました。

今回のパビリオンでは「火星の石」や「iPS 心臓」など、夢の詰まった展示品が見られるそうです。1970 年大阪万博に行った両親からは、「月の石」を見たよ」と言われましたが、それから 55 年で火星まで進んだようです。

ちなみに「火星の石」は、2000 年に南極で発見されたとのことで、火星で取ってきた訳ではありませんが、火星に水があることを証明する非常に大事な石だそうです。

また、万博のオフィシャルテーマソングと言え、1970 年大阪万博で歌われた三波春夫さんの「世界の国からこんにちは」という印象が強いのですが、今回は、コブクロさんによる「この地球（ほし）の続きを」という曲となっています。

幅広い年代を意識したシンプルかつポップな曲調ですが、サビではコブクロさんらしい格好良さも感じられます。また、「こんにちは」というフレーズは、1970 年大阪万博をオマージュ、リスペクトした形となっており、さらに、これからの世代を担う子供達への期待も歌われています。

大阪の子供達は遠足で行くとのことで、そういった子供達にとって深い印象に残り、将来にわたって良い意味で語り継がれる会となることを祈っています。

開幕まであと 2 か月半！

(注意点) 本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援はできませんのであらかじめご了承願います。

(免責) 本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責

任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて) 当館では外国に3か月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしているほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので、是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。

https://www.seattle.us.embjapan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html

(Unsubscribe:配信停止)

当館が把握しているワシントン州日系企業に本ニュースレターをお送りしております。

今後、本メールが不要な方はその旨ご返信願います。

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101